

二次感染予防のポイント

① 塩素濃度 0.02%の消毒薬を作る場合

消毒薬の量	塩素剤の濃度 (商品名の例)	1% (ミルトンなど)	5~6% (ハイター、ブリーチ、 ビュラックスなど)
全量 2リットル の場合		40mL (キャップ8杯)	8mL (キャップ約1.5杯)
全量 500ml の場合		10mL (キャップ2杯)	2mL (キャップ約半分)



水をペットボトル一杯
になるまで入れる

日常の清掃
床、便座
ドアノブ
おもちゃ
等

② 塩素濃度 0.1%の消毒薬を作る場合

消毒薬の量	塩素剤の濃度 (商品名の例)	1% (ミルトンなど)	5~6% (ハイター、ブリーチ、 ビュラックスなど)
全量 2リットル の場合		200mL	40mL (キャップ8杯)
全量 500ml の場合		50mL (キャップ10杯)	10mL (キャップ2杯)



水をペットボトル一杯
になるまで入れる

嘔吐物や便
で高濃度に
汚染された、
場所や物
等

長野県健康福祉部「ノロウイルスの二次感染を防止するために」¹

1

二次感染予防のポイント

マスク・手袋・
エプロン・ゴーグルを着用

【衣類が汚染した場合の処理】

(1) 塩素系消毒剤を使う場合 ※漂白作用あり

+ 換気

- ①嘔吐物をペーパータオル等で可能な限り除去する
- ②ビニール袋に衣類と洗剤、水を入れる（汚染した手袋は交換する）
- ③もみ洗いし、トイレに汚水を流す（にごりが無くなるまで繰り返す）
- ④袋の外側から衣類を絞る
- ⑤次亜塩素酸ナトリウム等を入れたバケツに衣類を漬け込み、フタをして30分間放置する（濃度：250~1000ppm）
- ⑥他の衣類と別にし、通常の洗濯をする

使用したバケツは
洗浄・消毒

2

2

二次感染予防のポイント

マスク・手袋・
エプロン・ゴーグルを着用

【衣類が汚染した場合の処理】

(2) 消毒液を使用しない場合（熱湯消毒）

+ 換気

- ①嘔吐物をペーパータオル等で可能な限り除去する
- ②ビニール袋に衣類と洗剤、水を入れる（汚染した手袋は交換する）
- ③もみ洗いし、トイレに汚水を流す（にごりが無くなるまで繰り返す）
- ④袋の外側から衣類を絞る
- ⑤バケツに衣類を入れ、熱湯を注ぎ、フタをして5分間放置する（温度を85℃で5分以上保つ）
- ⑥放置後、温水を捨てて③を再度行う
- ⑦他の衣類と別にし、通常の洗濯をする
- ⑧高温で乾燥、アイロンがけ等で再度加熱する

使用したバケツは
洗浄・消毒

3

3

二次感染予防のポイント

マスク・手袋・
エプロン・ゴーグルを着用

【カーペットが汚染した場合の処理】

+ 換気

- ①嘔吐物をペーパータオル等で可能な限り除去する
- ②ぬれタオルの上から温度設定を「高」にしたスチームアイロンを2分あてる
- ③（②ができない場合）
嘔吐物があった場所にキッチンペーパーを敷き、下記の消毒剤を染み込ませ10分間消毒する ※漂白の恐れあり
 - ・次亜塩素酸ナトリウム（1000ppm以上）
 - ・市販の二酸化塩素剤（0.006%）



4

4